

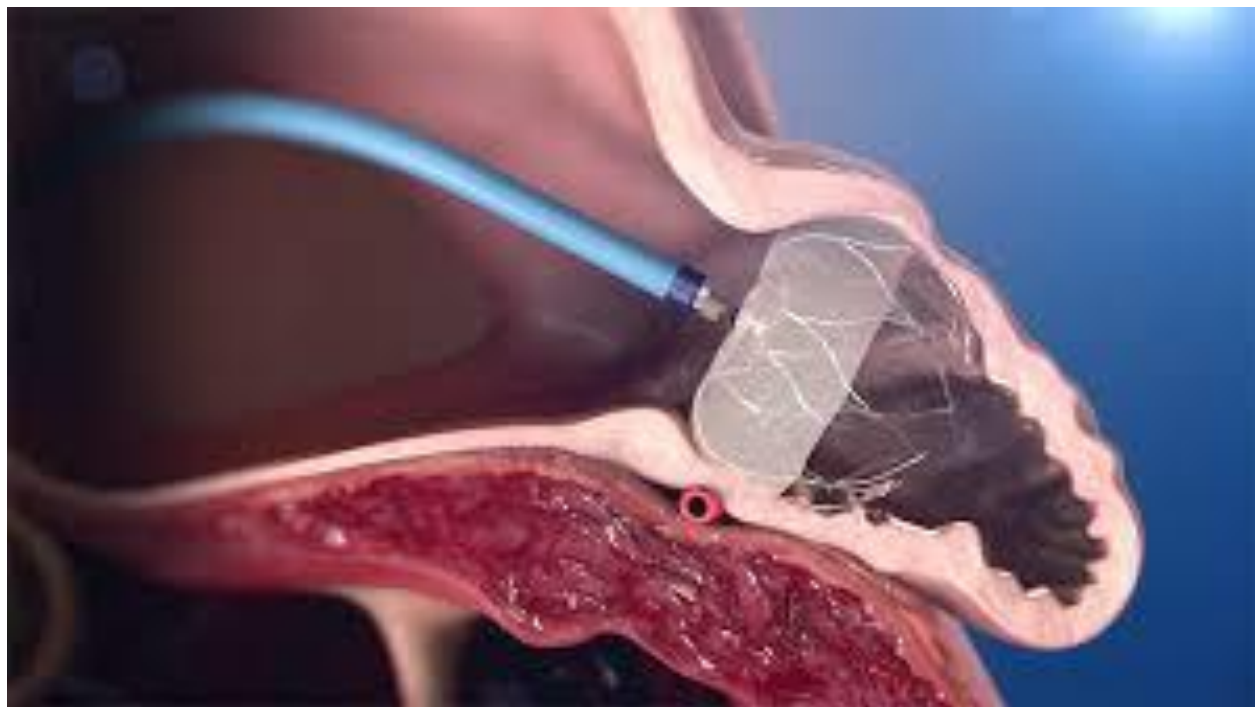
HEART NEWS

2021年9月1日発行

Vol. 44

大阪市立総合医療センター循環器センター

<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>



経皮的左心耳閉鎖術デバイス WATCHMAN™ は、医師が抗凝固薬の内服が必要と判断した非弁膜症性心房細動患者さんのうち、抗凝固薬の長期間の内服が困難と考えられる重篤な出血リスクがある場合や、以前に重篤な出血の既往のある方を対象に行われる、脳卒中予防治療の代替療法です。抗凝固薬の内服を中止し出血のリスクを下げるとともに、脳卒中の発生を予防します。当院でも今月から開始予定です。

本年も、全国各地で過去最高気温を更新し、さらにゲリラ豪雨といった異常気象となっています。さらにコロナの第二波のピークは過ぎたとのことですが、第三波がいつ来るかもわからず、このような状況が早く終わるよう祈るばかりです。皆さまお元気でお過ごしでしょうか？今年も残り4ヶ月となりました。これからいよいよ、循環器疾患のシーズン到来です。

今回は、占野賢司先生から、当院で9月から開始予定の経皮的左心耳閉鎖術デバイス WATCHMAN™ について、村上貴志先生からロボット支援下手術について報告させていただきます。

今後も、コロナに負けない市総合を目指して、これまで同様地域医療機関との連携強化に努め、最先端の循環器医療を身近に提供できるよう、なお一層努力したいと思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。循環器センターのHP (<http://cardiovasc-ocgh.sakura.ne.jp>) も是非閲覧ください

大阪市立総合医療センター 循環器センター長
循環器内科部長

成子 隆彦

左心耳閉鎖デバイス WATCHMAN 開始のお知らせ

循環器内科 占野賢司

心房細動に起因する心原性脳梗塞の予防として、ほぼ必須である抗凝固薬の有用性はよく知られています。しかし、その副作用である出血のリスクも考慮しなければならず、出血リスクの高い患者さんの場合、抗凝固薬の投与を行うかどうか、判断が難しいのが現状です。

左房内血栓の90%以上が左心耳内に形成されることが知られており、その左心耳を閉鎖することにより、抗凝固薬の中止を可能とするのが左心耳閉鎖デバイス(Watchman)です。

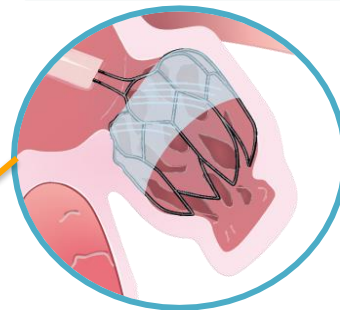
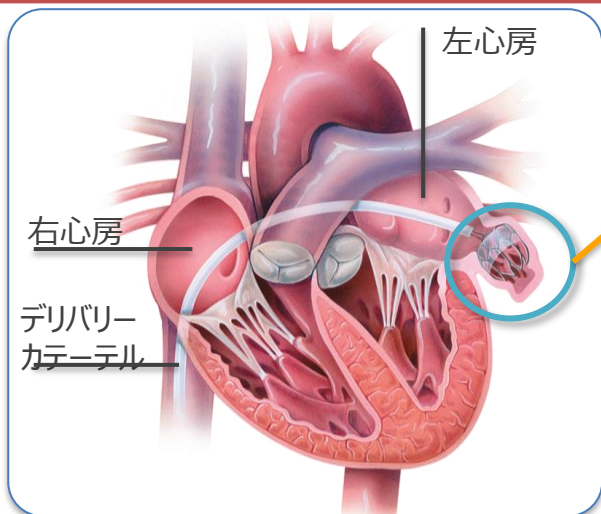
WATCHMANは、脳梗塞のリスクが高く(CHADS2 \geq 2点)、かつ、抗凝固薬による出血のリスクも高い患者さんが適応となります。

HAS-BLEDスコア

リスク項目	スコア
Hypertension (高血圧 収縮期 160mmHg 以上)	1
Abnormal renal/liver function (腎・肝機能異常、各1点)	1~2
Stroke (脳卒中)	1
Bleeding (出血既往・傾向)	1
Labile INRs (INR 不安定)	1
Elderly (年齢 >65 歳)	1
Drugs/alcohol (抗血小板薬や NSAIDs、またはアルコール依存 各1点)	1~2
最大スコア	9

<出血リスクが高い患者さんとは・・・>

- HAS-BLED スコアが 3 以上の患者
- 転倒にともなう外傷に対して治療を必要とした既往が複数回ある患者
- 大出血(出血に対する輸血、ヘモグロビン3g/dl以上の低下を伴う出血、頭蓋内出血など)の既往を有する患者



植込み直後



植込み数か月後(内皮化)

左心耳閉鎖デバイス (WATCHMAN) はカテーテルを用いて行います。下大静脈から心房中隔を経由し左房にアプローチし、経食道心エコーガイドで留置します。手技時間は約1時間程度です。数か月後には内皮化され、抗凝固薬の中止が可能となります。対象かも・・・と思われる患者さんがおられましたら、ご説明だけでもさせていただきますので、是非ご紹介をお願いいたします。

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
午後	阿部	松村		仲川	成子
	占野 (ペースメーカー)				林

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子	齋藤	阿部	成子	松本
					林 (不整脈)
午後		齋藤 (末梢動脈)	占野 (不整脈)		松本 (TAVI)

心臓血管外科のご紹介



部長 村上貴志

1) 2019年、低侵襲心臓手術 (Minimally Invasive Cardiac Surgery: **ミックス**) を導入しました。小切開から内視鏡下に弁膜症手術を行なっています。

2) 2020年、**ロボット**支援下手術を開始しました。

執刀医は遠隔で手術を行います

執刀医の繊細の動きを
ダヴィンチの鉗子に伝えます

ダヴィンチ使用可能診療科
(2020年1月)

泌尿器科

婦人科

心臓血管外科

呼吸器外科

消化器外科



執刀医の手・指の動きに連動する鉗子が接続されています

執刀医の動きに連動するだけではなく、手振れ防止機能も備えています

ダヴィンチの3Dカメラを通して極めて良好な視野で精密な操作が行えます

低侵襲な手術を可能にする
最新型「ダヴィンチ XI」



ロボットを用いた内胸動脈剥離



心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	青山	村上	阪口	【下肢静脈瘤外来】 青山	尾藤
午後	青山	【ロボット手術外来】 村上	阪口		尾藤

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究のいずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、教育プログラムの運営を行ったりしています。

しかしこの3月以後は、コロナ禍によって多くの学会や研究会が中止となり、教え教えられ議論することによって医療を高めようといった機会が突然なくなっていました。そのような状況の中で、やっと7月頃からは、延期されていた学会がそれぞれ工夫した方法で開催されるようになってきました。第84回日本循環器学会学術集会もその一つです。3月に予定されていた会期が7月末に延期され、また、全てWEBでの開催に変更となりました。初めての形式に不安もありましたが、会長である京都大学木村剛先生、そして多くの先生方の努力と工夫のおかげで、新しく、かつ、素晴らしい学会になったと思います。写真は当センターのメンバーがWEBセッションで座長を務めたり、発表したりした様子をスクリーンショットで撮影し、切り貼りしたものです。

どのような状況においても、情熱と工夫があれば勉強する機会を作ることができるものだと思っています。もちろんコロナ禍の終息を心から願っております。しかしたとえ、なかなか完全な状況に回復しなかったとしても、近隣の先生方、そして日本中あるいは世界中の先生方との交流を続け、勉強の輪を大事にすべきだと考えております。どうぞ今後とも宜しくお願い申し上げます。 2020年8月28日 循環器内科副部長・阿部幸雄



当院循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられることができるようにするため、循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。